

環境教育実践報告書

実施日：10月25日（水）

対象	プログラム名	場所
小学1年生	季節の自然と楽しく遊ぼう	板橋第二小学校
ねらい		
様々な感覚を使って自然を感じたり、普段とは違う視点で自然を見たりする中で、その見え方や自然に関する気づきがより豊かになる導入とする。		
全体の流れ		
1 導入 紙芝居の読み聞かせ 2 活動の説明 3 活動 校庭（ビオトープ）で、自然に触れたり感じたりする 4 感想、見つけた物の発表		

▼当日の様子

		
授業の風景	活動の様子	見つけた物をシートに記録
		
見つけた物の発表	ダイジェスト動画（二次元コードからご覧いただけます）	

▼実践後の検証

	主な視点	良かった点・課題・改善点など
1	●ねらいの達成 ねらいはおおむね達成できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を使って自然を感じる事ができた。 ・普段は見る事のない花や葉にも触れ、新たな気づきがあった。
2	●参加者の様子 意欲的に楽しく活動していたか	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲的に自然に目を向け活動できた。 ・休み時間にも自ら自然を観察する姿が見られた。
3	●活動の流れ 流れや時間配分等、無理なく進められたか	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの時間をもう少し長く取れると良かった。
4	●環境教育としての目的 環境への興味・関心を高められたか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と触れ合うことができているため、興味や関心を高められていると感じる。
5	●実施後の効果 子どもたちの意識や行動に変化があったか、周囲（家庭等）への波及効果は得られたか	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は鬼ごっこをしているような児童もたからさがしを行い、見つけた物を教え合う姿が見られた。
<p>●その他（自由意見・感想）</p> <p>普段から五感を使った視点で観察していたり、どんぐりを集めたり、お気に入りの葉っぱの匂いを見つけたりと、当たり前のように自然と関わっている。今後は、それが恵まれた環境であることや、今のような環境が保たれているのは見えないところで努力している人々がいることにも目を向けられる指導を行っていきたいと思っている。</p> <p>授業後には、「楽しかった」「（紙芝居に登場した蝶のキャラクターを）助けられてよかった」という声もあがり、活動の意義があったと感じている。</p>		

▼全体を振り返って

【指導者より】

日頃から、校庭の自然と関わる活動を行っており、児童も「発見すること」に意欲的であったため、今回のプログラム実践により、さらに環境への理解を深められると考えた。

板橋区の環境教育プログラムと、NPO 法人が作成した紙芝居をベースにしたうえで、板二小独自の環境（校庭の草木やビオトープ）を活かせるようにアレンジを加えて企画、実践した。

【見学者より】

評価できる点

- ・紙芝居の物語に沿って、自然な流れで活動に移っていた。児童も物語をハッピーエンドにするため、意欲的に活動に取り組んでいた。
- ・板橋区の環境の特徴にも触れていて、自身の住む地域への愛着が持てる工夫も凝らされていた。
- ・活動前の先生の説明がとても丁寧で、児童も目的を十分に理解できているようだった。
- ・児童の積極的な様子を見て、日頃から自然に興味を持ち、日々発見をしながら学んでいるのだと感じた。
- ・手作りバッグに発見したものを入れたり、シールを貼って成果が分かるようにしたりする工夫が、児童のやる気につながっていた。
- ・五感で自然を観察することを意識できる仕組みが面白かった。

工夫の余地がある点

- ・二人一組で活動していたが、役割（発表者及び記録者）を厳格に決めなくても良かったのではないかと感じた。
- ・発表の際、どうしても「見つけた物」に意識が向かいがちになっていたため、視覚以外の発見（音、におい、手触り等）に関する感想をもっと引き出せると良かった。

環境教育実践報告書

実施日：11月2日（木）

対象	プログラム名	場所
5歳児	身近な自然を調べてみよう	赤塚保育園
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や近くの公園、地域の自然に関心を持ち、動植物に触れる中で自然を大切にする気持ちを育てる。 		
全体の流れ		
<ol style="list-style-type: none"> 1 紙芝居の読み聞かせ（自然について考える導入をする） 2 発見物の発表（発見した生き物や植物の絵を地図に貼り、身近にたくさんの動植物があったことを確認する） 3 発見場所の振り返り（発見した動植物の周りには何があったのかを考える） 4 グループ討議と発表（動植物が元気に育つために何ができるのかを考える） 5 まとめ 		

▼当日の様子

		
会場の様子	紙芝居の読み聞かせ	発見物を描き地図に貼る
		
自然のためにできること	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 二次元コード (調整中) </div>	
	ダイジェスト動画（二次元コードからご覧いただけます）	

▼実践後の検証

	主な視点	良かった点・課題・改善点など
1	●ねらいの達成 ねらいはおおむね達成できたか	・日々の取り組みの中で、身近な自然に興味を持ち、自然を大切にしようとする気持ちがある。それを言語化、視覚化したことでより自然について考え、大切にすることを育めた。
2	●参加者の様子 意欲的に楽しく活動していたか	・日頃から楽しんで活動していることなので、いきいきと活動できていた。意欲的に参加できるよう、時間内に発表・作業・話し合いと様々な活動を取り入れたことで、集中して楽しみながら活動できた。
3	●活動の流れ 流れや時間配分等、無理なく進められたか	・余裕を持って、ゆっくりと園児の様子を見ながら対話して進めることができた。
4	●環境教育としての目的 環境への興味・関心を高められたか	・日々の活動の中で興味関心を持っていたが、より高められたと感じる。
5	●実施後の効果 子どもたちの意識や行動に変化があったか、周囲（家庭等）への波及効果は得られたか	・身のまわりの動植物を大切に扱うようになった。また、自然だけでなく、環境問題にも目が向くようになった。 ・1回で終わるのでなく、継続して自然探しや地図作りを進めている。園児が楽しんで話すことで、保護者から質問されることもあり、親子で関心が高まっている。
<p>●その他（自由意見・感想）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から遊びを通して環境について考える機会を作っていますが、この機会を通して更に考えるきっかけとなった。 ・児童館や、小中学校、あいキッズの様子を見る機会があまりないので、見せて頂くことで勉強になる。出前講座もいつも楽しませて頂き、園児だけでなく、保育士自身の学びにもなっている。このような機会が広がり、続いて欲しいと感じた。 		

▼全体を振り返って

【指導者より】

園児は日常的に散歩に出たり、園庭に出て図鑑を見ながら虫探しをしたりしていた。虫や植物が好きな園児多いことから、このプログラムを企画するに至った。

プログラムの内容は、年長さんにとっては少々高めの難易度に設定したが、日々の対話の中で少しずつ環境について学んできたこともあり、年長レベルから一歩進んだ環境学習を行うことができたと思う。

【見学者より】

評価できる点

- ・多くの園児が様々な虫や植物の名前を知っていた。日頃の散歩の探求心から培われたものだった。
- ・「自分たちに何をできるのか」について園児に考えさせて学ばせる工夫ができていた。かなりハイレベルな内容であったが、しっかり付いてきている印象を受けた。
- ・園児の発言に対して先生の返す言葉が適切だった。それにより園児が自信を持って、安心して発言していた。
- ・園児に「環境を学ぼう」という強い意志を持たせるのではなく、自然と頭の中に入るよう、日常的に工夫が行われていた。
- ・一般的な年長と比べて、意欲が高いことが伝わった。日頃先生が園児にどんな風に接しているのか一目でわかるような言葉掛けをしていた。
- ・日頃から経験していることを発表しているので迷いがなかった。自分が見たものを描いて発表していたので、自分の中でちゃんと消化し、自信につなげていた。
- ・グループワークが円滑に進められており、普段から定期的に行っていることが伝わった。

工夫の余地がある点

- ・プログラムの最後に「今回みんなで作った地図を大きくしていこうね」と言っていたので、ぜひ今回の活動を続けて大きな地図を作ってほしい。
- ・年長から年中に伝えていく流れができれば良い。

環境教育実践報告書

実施日：11月8日（水）

対象	プログラム名	場所
0から5歳児	秋の自然探し	しらさぎ児童館
ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・秋を探すことにより自然環境に親しむ。 ・親子で自然を観察することにより、情操を高める。 		
全体の流れ		
<ol style="list-style-type: none"> 1 絵本の読み聞かせ、目標の提示、使用物配布 2 自然探索（児童館敷地内及びその周辺） 3 まとめ 見つけた自然物の共有 		

▼当日の様子

		<p style="text-align: center;">あきのしぜんさがし</p> <p style="text-align: center;"><small>今年もまたあそび、しらさぎ児童館</small></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>どんぐり</td> <td>あかいは</td> <td>ひめりんご</td> </tr> <tr> <td>かき</td> <td>黄化こすもす</td> <td>ほしがき</td> </tr> <tr> <td>わた</td> <td>きいろいは</td> <td>かりん</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">そのほかにみつけたもの、きづいたこと</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	どんぐり	あかいは	ひめりんご	かき	黄化こすもす	ほしがき	わた	きいろいは	かりん
どんぐり	あかいは	ひめりんご									
かき	黄化こすもす	ほしがき									
わた	きいろいは	かりん									
会場（屋内）	絵本の読み聞かせ	ワークシート様式									
	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  </div> </div>										
自然探し（児童館 庭）	ダイジェスト動画（二次元コードからご覧いただけます）										

▼実践後の検証

	主な視点	良かった点・課題・改善点など
1	●ねらいの達成 ねらいはおおむね達成できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・全員がテーマとなった秋を見つけることができた。 ・テーマを秋としたが、気候のためか秋が少なかった。 ・写真や現物を用意して、視覚で提示するとより良かった。
2	●参加者の様子 意欲的に楽しく活動していたか	<ul style="list-style-type: none"> ・好天にも恵まれ、親子で楽しく参加していた。 ・午後の幼稚園児は、ゲーム感覚でより積極的に活動していた。
3	●活動の流れ 流れや時間配分等、無理なく進められたか	<ul style="list-style-type: none"> ・午前午後各14組の親子が参加したが、探索範囲を狭めたため時間に余裕をもってゴールしていた。
4	●環境教育としての目的 環境への興味・関心を高められたか	<ul style="list-style-type: none"> ・秋が少なく、こちらで提示した秋を探す方法に変更した。 ・どんぐりや葉も種類によって違いがある事を伝えることができた。
5	●実施後の効果 子どもたちの意識や行動に変化があったか、周囲（家庭等）への波及効果は得られたか	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加する活動なので、保護者に直接働きかけることができた。
<p>●その他（自由意見・感想）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館のプログラム参加者は不特定であり、継続しての活動がしづらい。日常行っている、果樹の収穫・野菜の栽培・メダカ・カブトムシの飼育・コンポストの設置などをおして環境教育を行っていきたい。 		

▼全体を振り返って

【指導者より】

しらさぎ児童館は敷地内に庭があり、様々な果樹や昆虫が観察できる。この環境を存分に活用することができるため、乳幼児親子向けの自然探しを企画した。

当初は、児童館の向かいにある「成増第一公園」での自然探しも検討したが、11月上旬の下見の段階で秋っぽいものが何もなかったため、主に児童館の庭で活動する内容とした。

【見学者より】

評価できる点

- ・児童館は保育園と違い、親子で参加できる。この特徴を十分に活かしたプログラムであり、ねらいは達成できていたと感じる。子どもが一生懸命探すのを親がフォローしている光景が見られてとても良かった。
- ・子どもたちは、様々な視点を持って積極的に探していた。保護者の方も、童心に帰りすごく楽しそうに取り組んでいた。「時間内に見つけないと…」と言っていた姿が印象的だった。
- ・秋を探すテーマだったが、夏を感じる部分も多くあった。結果、秋にとらわれず「今の自然」を探すプログラムになっており、気づきにつながっていた。
- ・実物を触らせる体験がとても良かった。
- ・児童館の性質上、0～5歳児が一堂に会する児童館の性質上、全体をうまくまとめ上げるのが難しいと思っていたが、実施を2回に分け、3～5歳児には気づいたこと発表させる等、年齢に応じた工夫でうまくまとめられていた。

工夫の余地がある点

- ・ワークシートに写真またはイラストがあれば、より理解が深まったと思う。
- ・ワークシートのリストに「かりん」があったが、隣のしらさぎ保育園に実っている状態のものを観察するだけだった。子どもたちも見慣れない果物に興味を持っていたため、可能であればひとついただいて、匂いを嗅がせたり、感触を確かめたりするなどの経験をさせてあげられると良いと思った。
- ・子どもたちが自分自身で発見したものを発表したがっていたので、発表の時間をもっと長く設けられると良かった。

その他


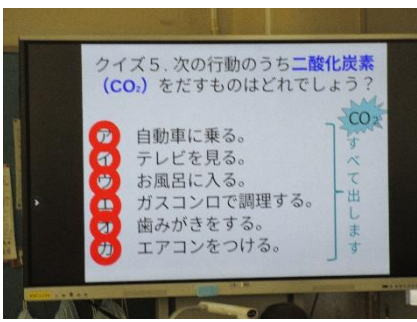



- ・11月にもかかわらず、夏の植物が元気に育っているのもひとつの気づき。成増第一公園の「秋が深まらない」状況も、環境を考えるヒントにつながると思う。

環境教育実践報告書

実施日：12月12日（火）

対象	プログラム名	場所
8年生 (中学2年生)	地球温暖化ってなんだろう。	高島第一中学校
ねらい		
これまでに学習した天気や状態変化、植物のはたらきの知識をもとに、地球温暖化について考える。地球温暖化を自分の生活と関連付けてとらえ、地球温暖化防止となる行動を実践できるようにする。		
全体の流れ		
<ol style="list-style-type: none"> 1 導入 地球温暖化が起こるしくみや温室効果ガスについて、簡単なクイズを交えながら理解していく。 2 水の膨張実験 実験を通して、地球上の水が温まるとどんな現象が起こるかを調べる。 3 地球温暖化によって起こる現象について 海面上昇や異常気象の増加、動物や自然環境の変化について知る。 4 地球温暖化防止対策 温室効果ガスである二酸化炭素の発生を抑える行動を考える。 5 感想、ふりかえり 		

▼当日の様子

		
授業の風景	地球温暖化を考えるクイズ	水の膨張実験
		
地球温暖化による影響	ダイジェスト動画（二次元コードからご覧いただけます）	

▼実践後の検証

	主な視点	良かった点・課題・改善点など
1	●ねらいの達成 ねらいはおおむね達成できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した理科の知識が地球上で起こっていて、地球温暖化という問題につながっていることを伝えることができた。 ・地球温暖化を防ぐ(CO₂排出量を減らす)行動について考えることができた。
2	●参加者の様子 意欲的に楽しく活動していたか	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化について理解し、考えることができた。 ・授業後半は地球温暖化で起こる現象を聞く時間が長かった。地球温暖化によって起こる現象やCO₂排出量を減らす行動は、どんなものがあるか、生徒に考えさせ、話し合える時間をつくった方が良かった。
3	●活動の流れ 流れや時間配分等、無理なく進められたか	<ul style="list-style-type: none"> ・水の膨張実験は、短時間で水の体積が大きくなることが分かり、良かったと思う。 ・地球温暖化によって起こる影響、地球温暖化を防ぐ行動をたくさん伝えたため、生徒の感想やふりかえりの時間が短くなってしまった。
4	●環境教育としての目的 環境への興味・関心を高められたか	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化によって起こる現象について、考えることができた。 ・日常生活と地球温暖化の問題が結びついていることが分かり、環境について考え、関心を高める時間となった。
5	●実施後の効果 子どもたちの意識や行動に変化があったか、周囲(家庭等)への波及効果は得られたか	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の授業で、日常生活の行動を少し変えることで、CO₂排出量を減らす行動につながると気づくことができた。地球温暖化を防ぐ行動を日頃から取り入れるように、行動を心がけるようになった。
<p>●その他(自由意見・感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の問題は、地球上で起こっている様々な現象と結びついているため、非常に幅が広い。今回は理科の授業として1時間で地球温暖化について解説し、地球温暖化について考えたが、もっと授業時間数を確保し、少しずつ進めた方が、生徒にとっても継続的に環境について考えることができ良いと思った。 		

▼全体を振り返って

【指導者より】

- ・今までの授業で学習したこと（今回は自身の専門科目である化学）から環境問題を考えることができる内容で企画した。
- ・水の膨張実験に使用する器具を変更し、変化が顕著に表れるよう工夫した。
- ・授業に情報を詰め込みすぎて、生徒一人ひとりが考え発表する場を設けられなかった。
- ・今後も、環境問題を自分事と感じられるような授業を企画し、継続していきたい。

【見学者より】

評価できる点

- ・生徒一人ひとりが、CO₂排出削減行動の順位予想を真剣に考えている様子が印象的だった。
- ・クイズの答え合わせをし、復習をしながら授業を進めており、理科としても面白い授業だと感じた。
- ・じっくり時間をかけながら授業を進めることで、内容を丁寧に教えられていた。
- ・生徒とのコミュニケーションがしっかりと行われていた。
- ・スライドが分かりやすく、構成がよくまとめられていた。簡単な言葉に置き換えれば、保育園でも活用できると思った。

工夫の余地がある点

- ・生徒の声がもっと自由に出るような工夫があると良い。
- ・グループワークや発表の時間も十分に取れると良い。
- ・すでに習った部分については生徒に説明してもらおう等、授業を教師と生徒で一緒に進行していくと、復習にもなり、メリハリのある授業になると思った。
- ・CO₂排出削減行動の順位予想シートは、節約できる金額も載っているため、自分の家庭ではいくら節約できているか計算してみる等、様々な使い方をすることでより興味関心を引き出せそうだと感じた。

その他

- ・学校全体としても、普段から様々な教科の中で、SDGs等をはじめとした環境テーマに触れ考える学習を行っている。
- ・近年、環境教育は小学校までにかなりやってきている。中学校では、それまでの知識や経験とのつながりを実感させつつ、視点を変えてもう一步踏み込んだ教育ができると良い。